

2022年12月期 決算説明会資料

2023年2月17日

株式会社ナカニシ

免責事項

資料に記載されている情報には、将来の業績に関する見通しが含まれています。これら見通しには不確定要素が含まれており、将来の業績を保証するものではありません。将来の業績は、世界経済の変化や為替相場の変動等により、予想数値とは異なる場合があります。予めご了承下さい。

当期から報告セグメントを変更

主な変更点

1. 「歯科製品関連事業」に包含していた「外科事業」を分離・独立
2. 「その他事業(主に修理サービス)」を廃止、各セグメントに合算

旧セグメント

歯科製品関連事業

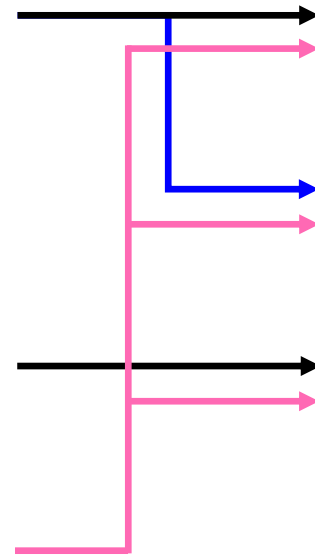
Dental Products

工業製品関連事業

Industrial Products

その他事業

Others



新セグメント (2022年12月期第1四半期から)

歯科事業
Dental Business

改称

補綴歯科治療・歯周病治療・訪問歯科治療・インプラント治療など、広範な歯科治療をカバーする歯科治療機器の開発・製造・販売

外科事業
Surgical Business

新設

脳神経外科・脊椎脊髄外科・整形外科などの分野で使用される骨切削ドリルの開発・製造・販売

機工事業
Industrial Business

改称

自動車・航空機・精密機器等、幅広い産業の超微細・精密加工で使用するモーター・スピンドル等の開発・製造・販売

(廃止)

歯科事業

Dental Business



歯科用ハンドピース



インプラントモーター



超音波スケーラー



歯科用マイクロモーター

外科事業

Surgical Business



コンソール



スリムモーター



アタッチメント



ディスク

機工事業

Industrial Business



コントローラー



スピンドル



電動式グラインダー



超音波式グラインダー

2022年12月期 連結決算概要	P. 5
2023年12月期 連結業績予想	P. 16
各事業の概況と今後の施策	P. 20

2022年12月期 連結決算概要

執行役員CFO 鈴木 大介

- **堅調な世界需要を取り込み、過去最高業績を2期連続で更新。為替影響を除いても、大幅増収となった前期売上水準を維持。**
- **柔軟な部品調達や仕様変更対応が奏功し、生産影響を最小化。新工場「A1+」で将来的な部品増産と生産性の向上に布石。**
- **部品価格が高止まりする一方、期末には部品不足がやや緩和。コロナ感染に伴う生産現場の欠員が慢性化したことも影響し長期化する納期の改善が進まず競争上のリスクとして顕在化。**

百万円

		当期実績	前期実績	前期比		当期予想	
		2022/12	2021/12	増減額	増減率	11/11上方修正	予想比
売上高		48,671	44,857	+3,813	+8.5 %	48,588	+0.2 %
売上総利益		31,221	27,295	+3,926	+14.4 %	30,942	+0.9 %
	利益率	64.1 %	60.8 %	+3.3 pt	—	63.7 %	—
営業利益		15,389	13,750	+1,638	+11.9 %	14,918	+3.2 %
	利益率	31.6 %	30.7 %	+1.0 pt	—	30.7 %	—
経常利益		17,646	13,951	+3,694	+26.5 %	18,024	-2.1 %
	利益率	36.3 %	31.1 %	+5.2 pt	—	37.1 %	—
親会社株主に帰属する 当期純利益		12,471	10,102	+2,368	+23.4 %	12,573	-0.8 %
	利益率	25.6 %	22.5 %	+3.1 pt	—	25.9 %	—
E P S	(円)	145.48	116.73	—	—	146.47	—

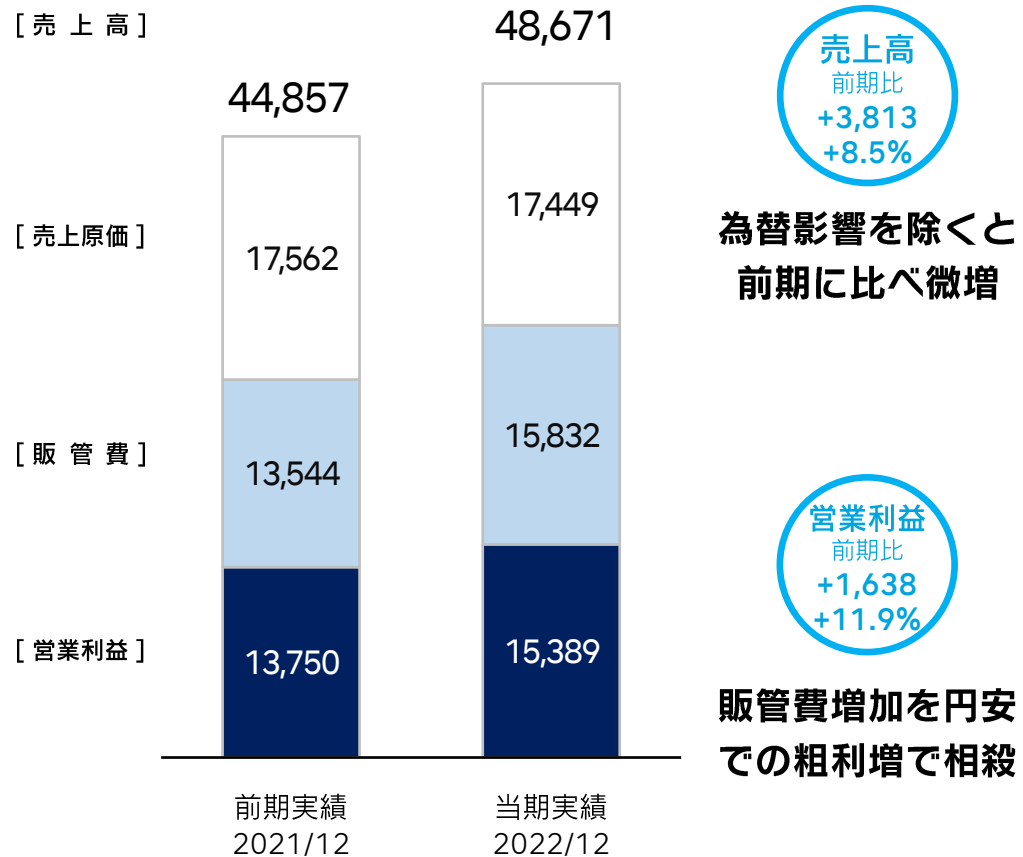
為替レート

- 米ドル	(円)	130.77	109.84	+20.93	—	124.00	+6.77
- ユーロ	(円)	137.90	130.08	+7.82	—	131.00	+6.90

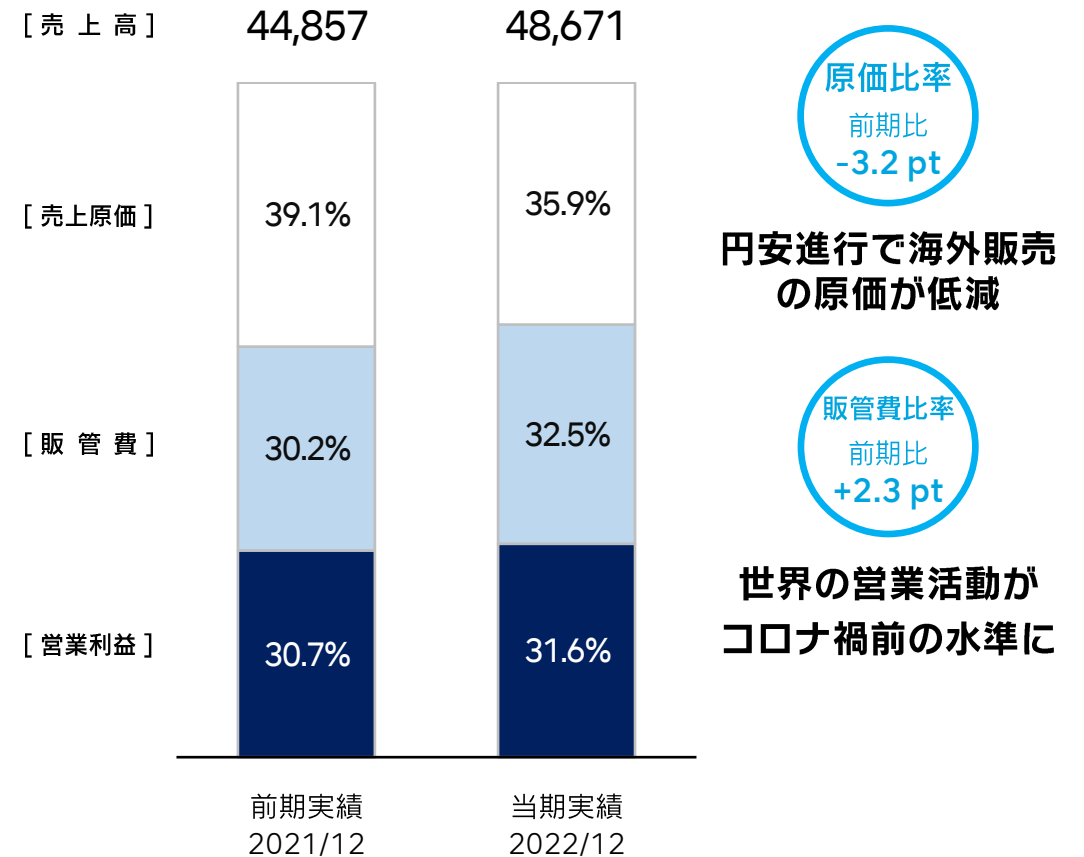
- 為替影響額： 売上高 +3,342百万円（前期比）, +1,629百万円（予想レート比）
- 為替感応度： 1円円安による年間売上高の変動 米ドル 90百万円増, ユーロ 78百万円増

百万円

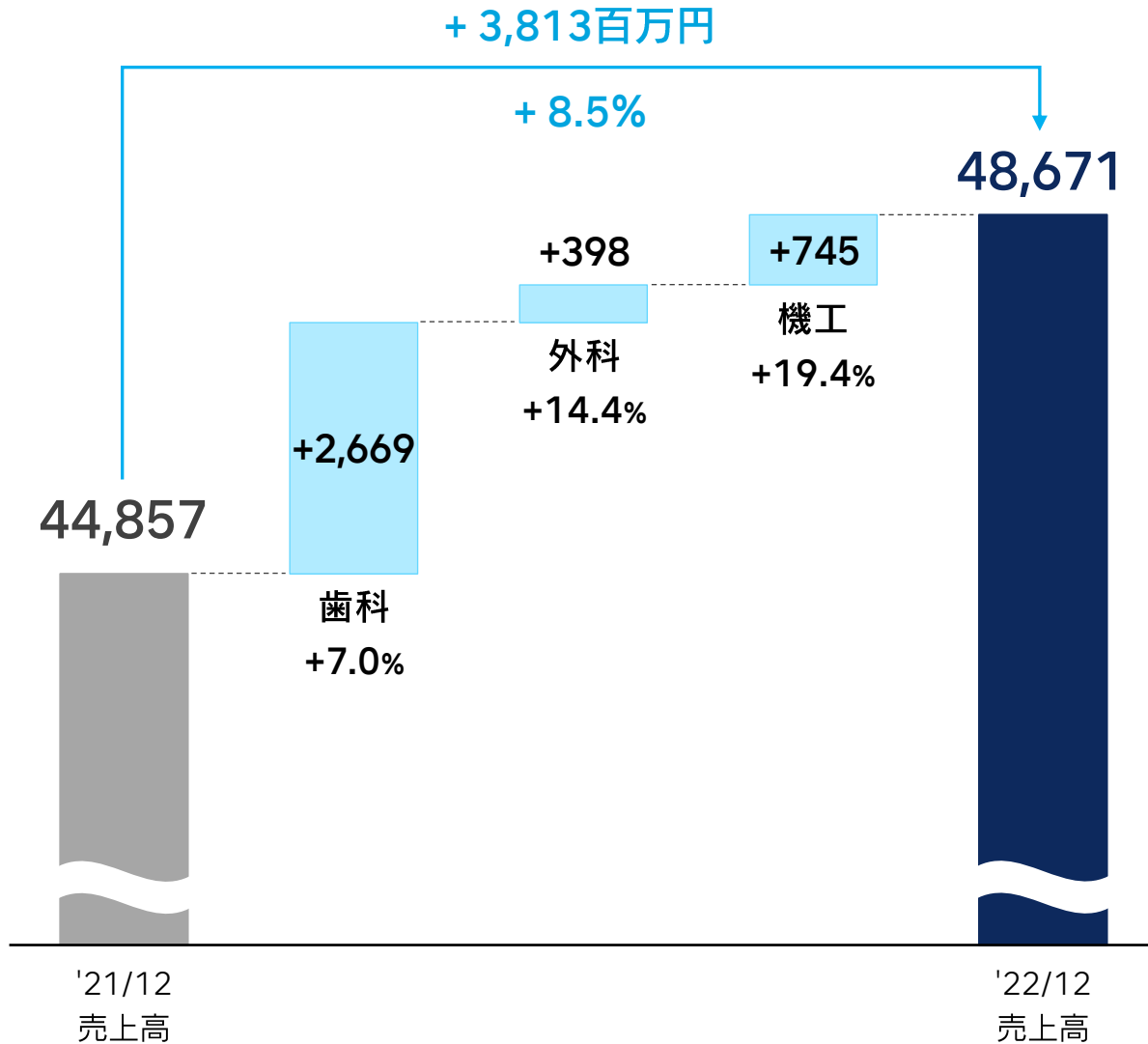
実績金額



構成比率



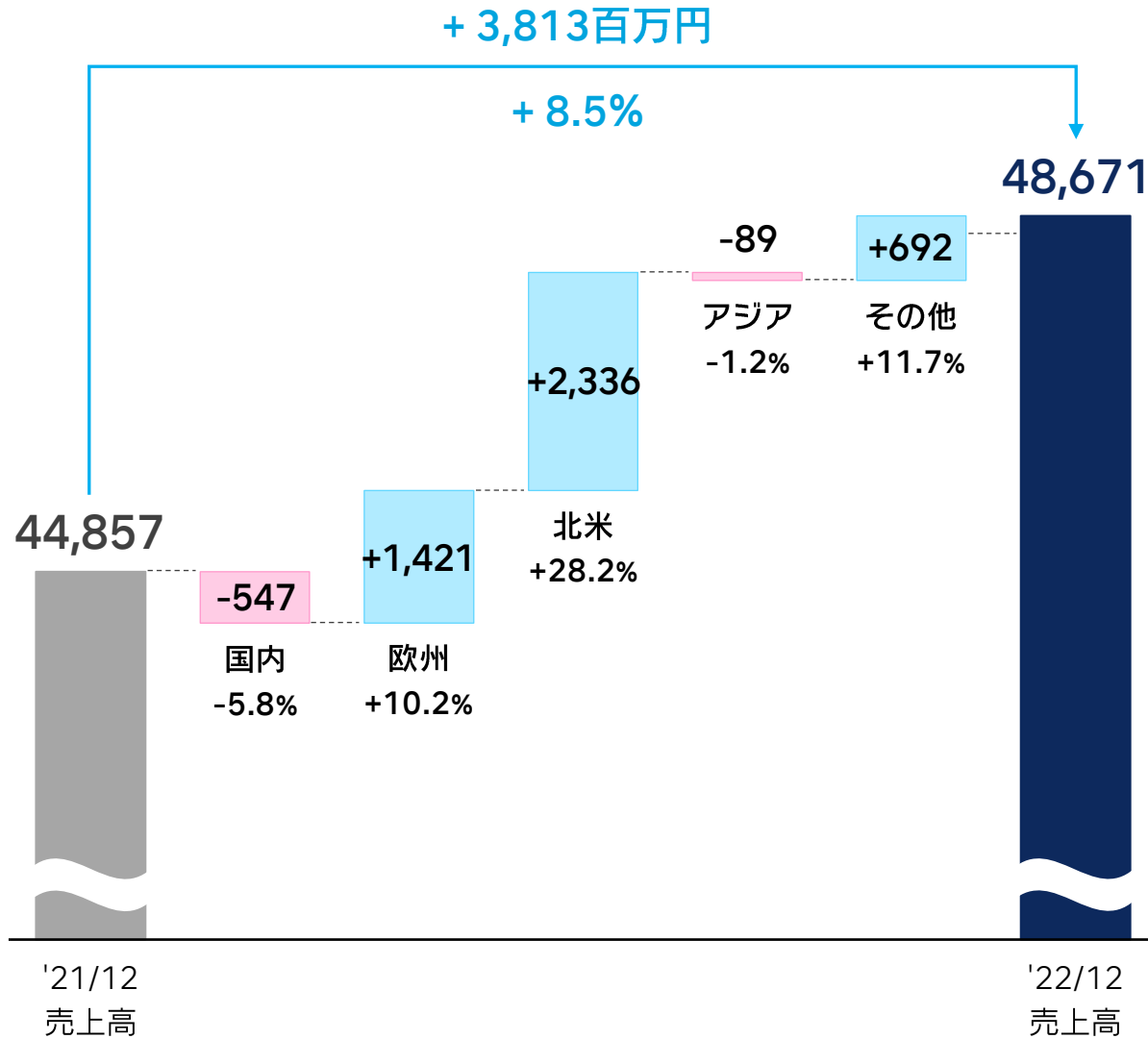
百万円



	前期実績 2021/12	当期実績 2022/12	増減
歯科事業	38,257	40,926	+7.0%
外科事業	2,761	3,160	+14.4%
機工事業	3,839	4,584	+19.4%
合 計	44,857	48,671	+8.5%

為替影響額 **+3,342百万円 (+7.5%)**

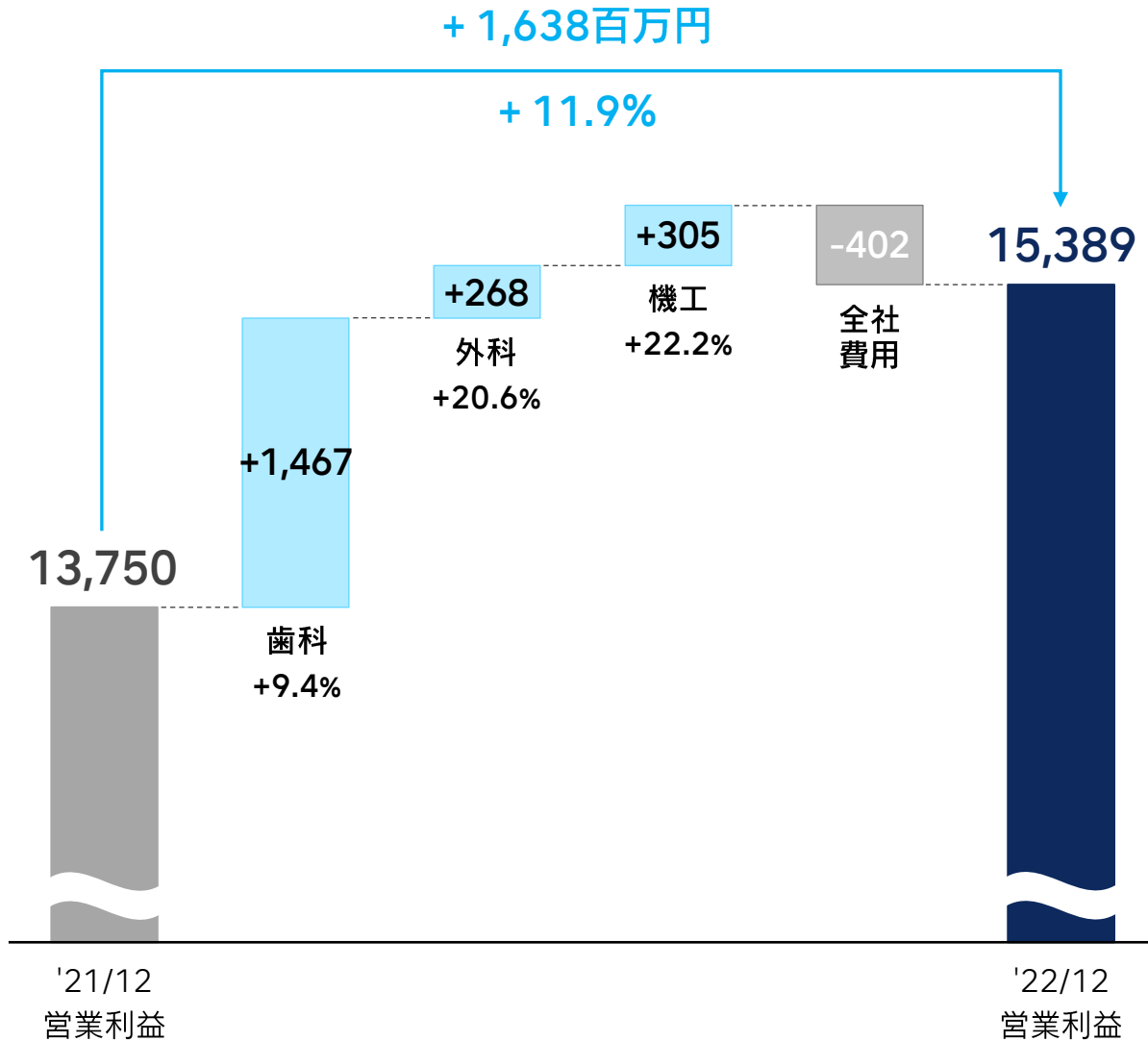
百万円



	前期実績 2021/12	当期実績 2022/12	増減
国内	9,439	8,891	-5.8%
欧州	14,010	15,432	+10.2%
北米	8,284	10,620	+28.2%
アジア	7,180	7,091	-1.2%
その他	5,943	6,636	+11.7%
合計	44,857	48,671	+8.5%

為替影響額 +3,342百万円 (+7.5%)

百万円

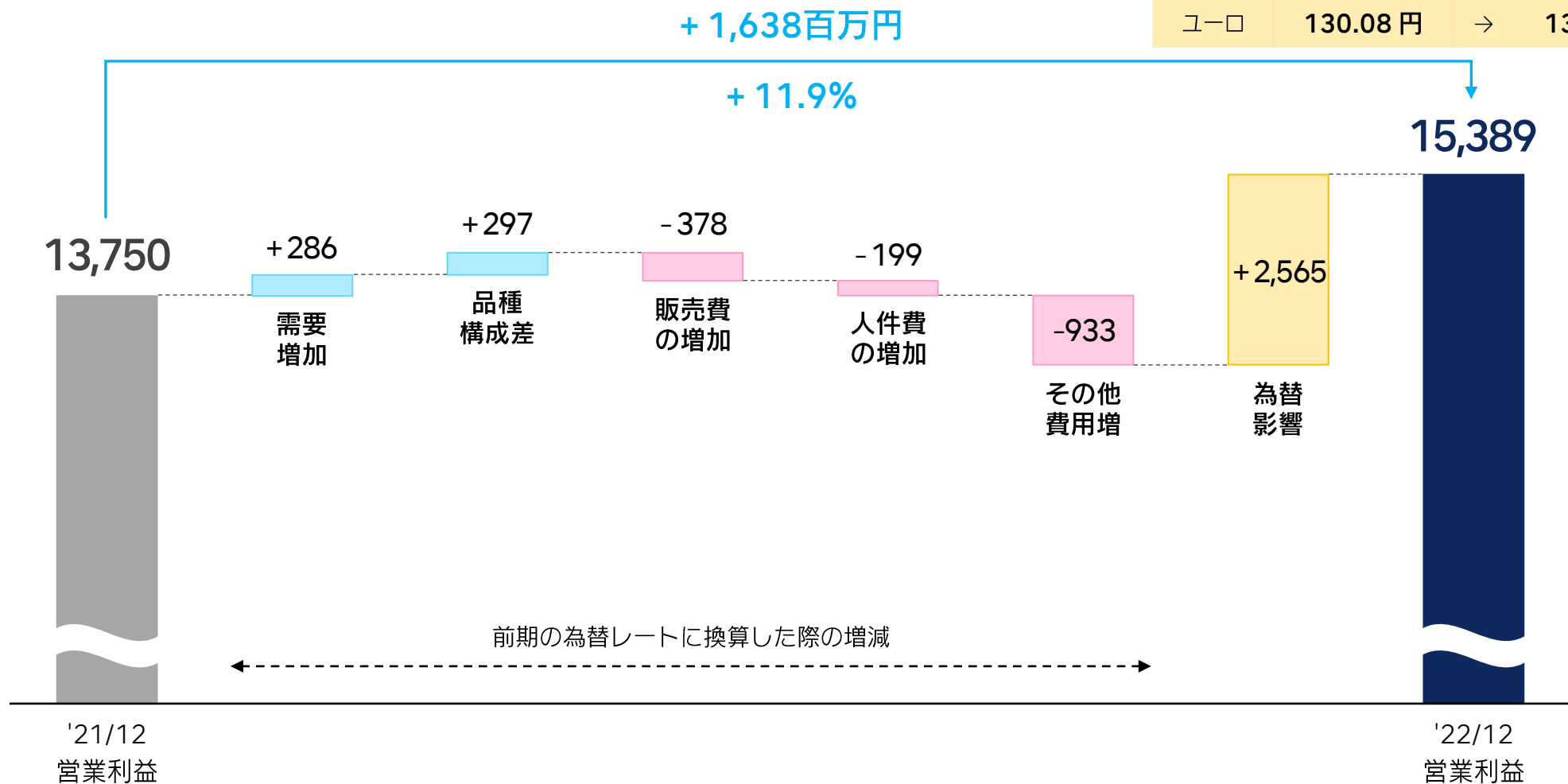


	前期実績 2021/12	当期実績 2022/12	増減
歯科事業	15,556	17,024	+9.4%
外科事業	1,303	1,571	+20.6%
機工事業	1,377	1,683	+22.2%
全社共通	-4,487	-4,890	-
合計	13,750	15,389	+11.9%

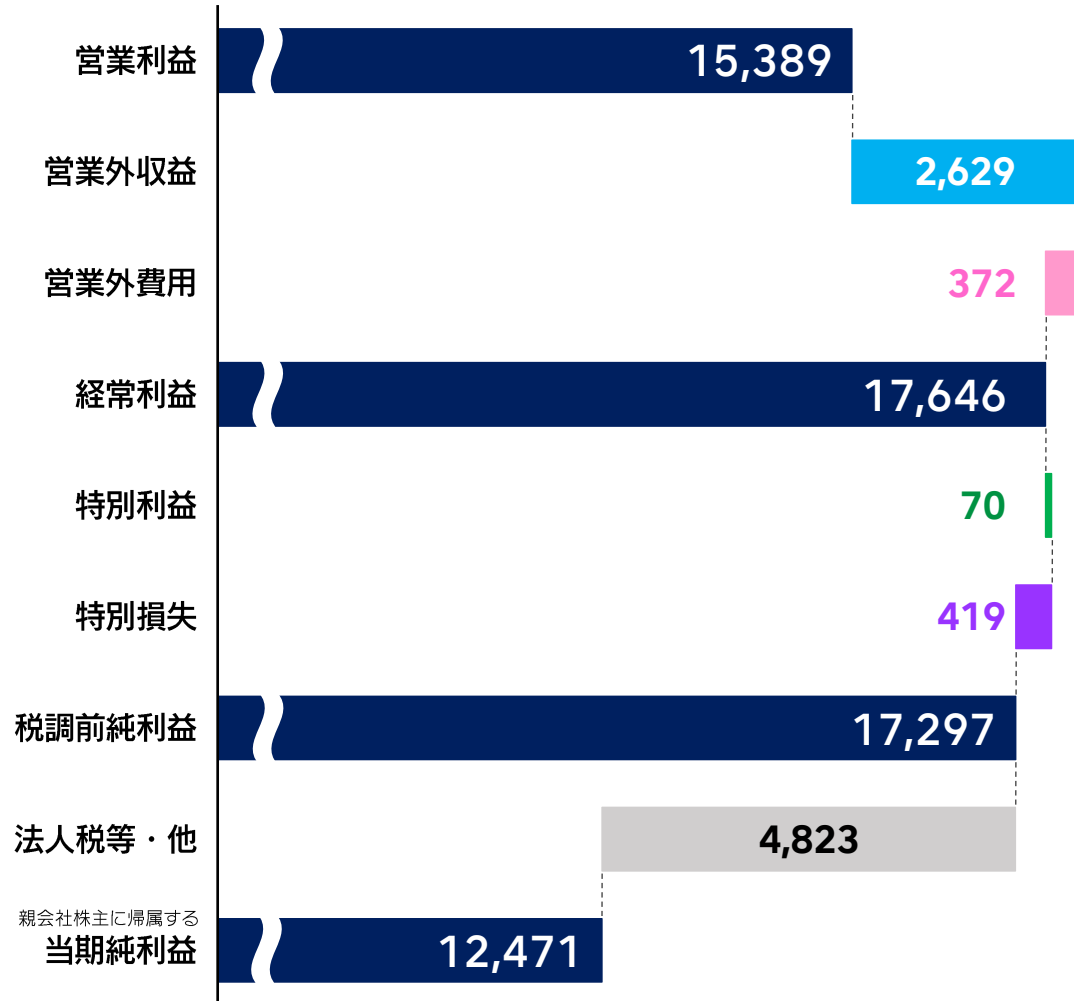
為替影響額 +2,565百万円 (+18.7%)

百万円

平均為替レート			
	2021/12		2022/12
米ドル	109.84 円	→	130.77 円
ユーロ	130.08 円	→	137.90 円



百万円

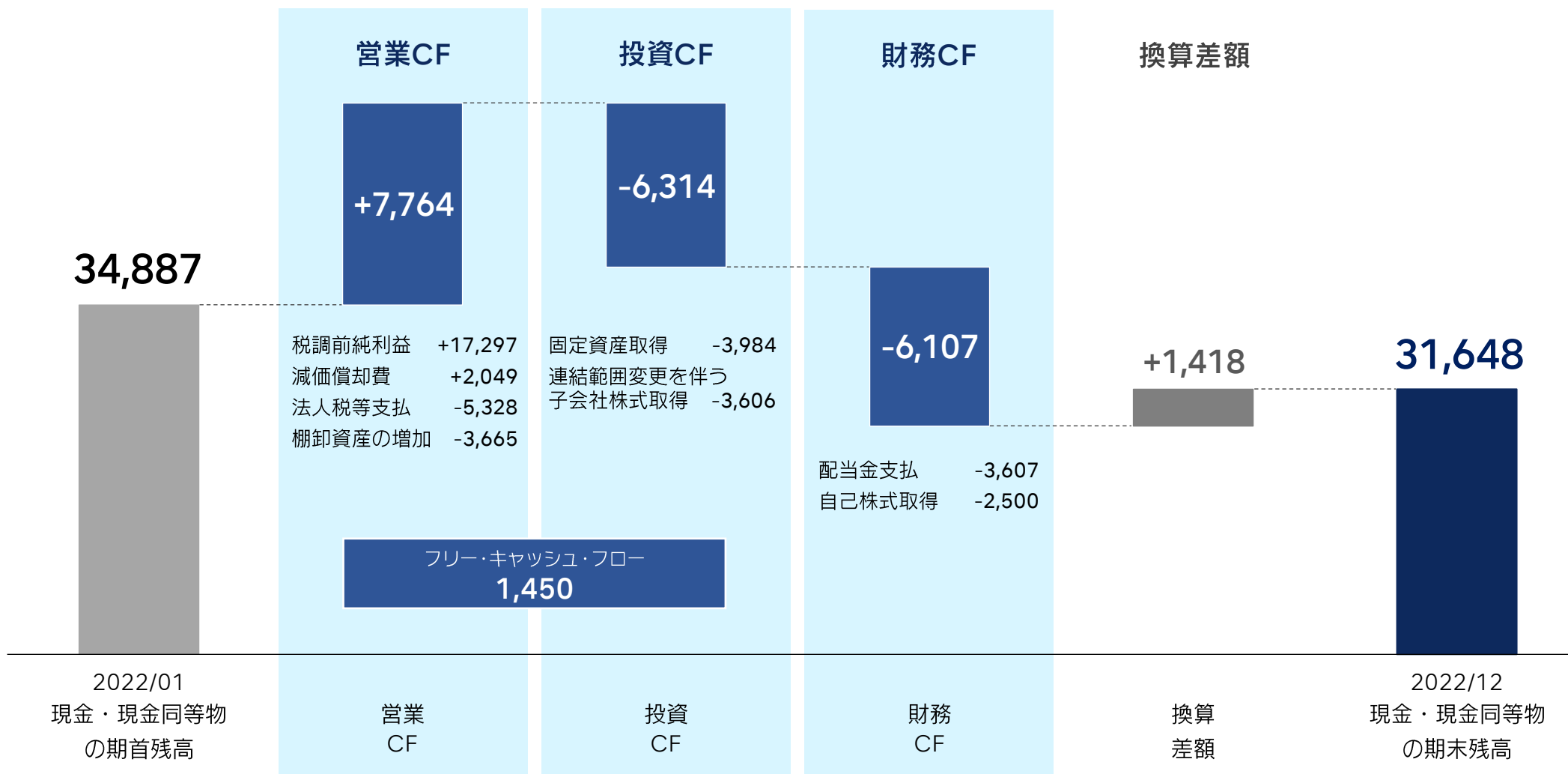


営業外収益	・受取配当金	638
	・持分法による投資利益	812
	・為替差益	610
営業外費用	・金銭の信託運用損	282
特別利益	・固定資産売却益	70
特別損失	・減損損失	374

百万円

	当期末 2022/12	前期末 2021/12	増減額	主な増減内容
総資産	102,154	94,460	+7,693	・建物及び構築物 +2,680
- 現金及び預金	34,992	35,984	-991	
- 受取手形及び売掛金	6,106	5,348	+757	
- 棚卸資産	16,284	11,733	+4,551	・商品及び製品 +1,344 ・仕掛品 +1,512 ・原材料及び貯蔵品 +1,694
負債	11,131	11,541	-409	・買掛金 +526 ・未払法人税等 +234 ・流動負債その他 -1,604
- 有利子負債	480	100	+380	・長期借入金 +358
純資産	91,022	82,919	+8,103	・自己株式 -2,500 ・為替換算調整勘定 +2,131
- 利益剰余金	93,628	84,765	+8,863	
自己資本当期純利益率 (ROE)	14.4 %	12.7 %	+1.7 pt	
総資産経常利益率 (ROA)	18.0 %	15.8 %	+2.2 pt	
	当期実績 2022/12	前期実績 2021/12	増減額	主な内容
設備投資額	4,058	2,415	+1,642	・新工場「A1+」関連 1,469 ・IT 関連 276
減価償却費	2,049	1,807	+241	

百万円



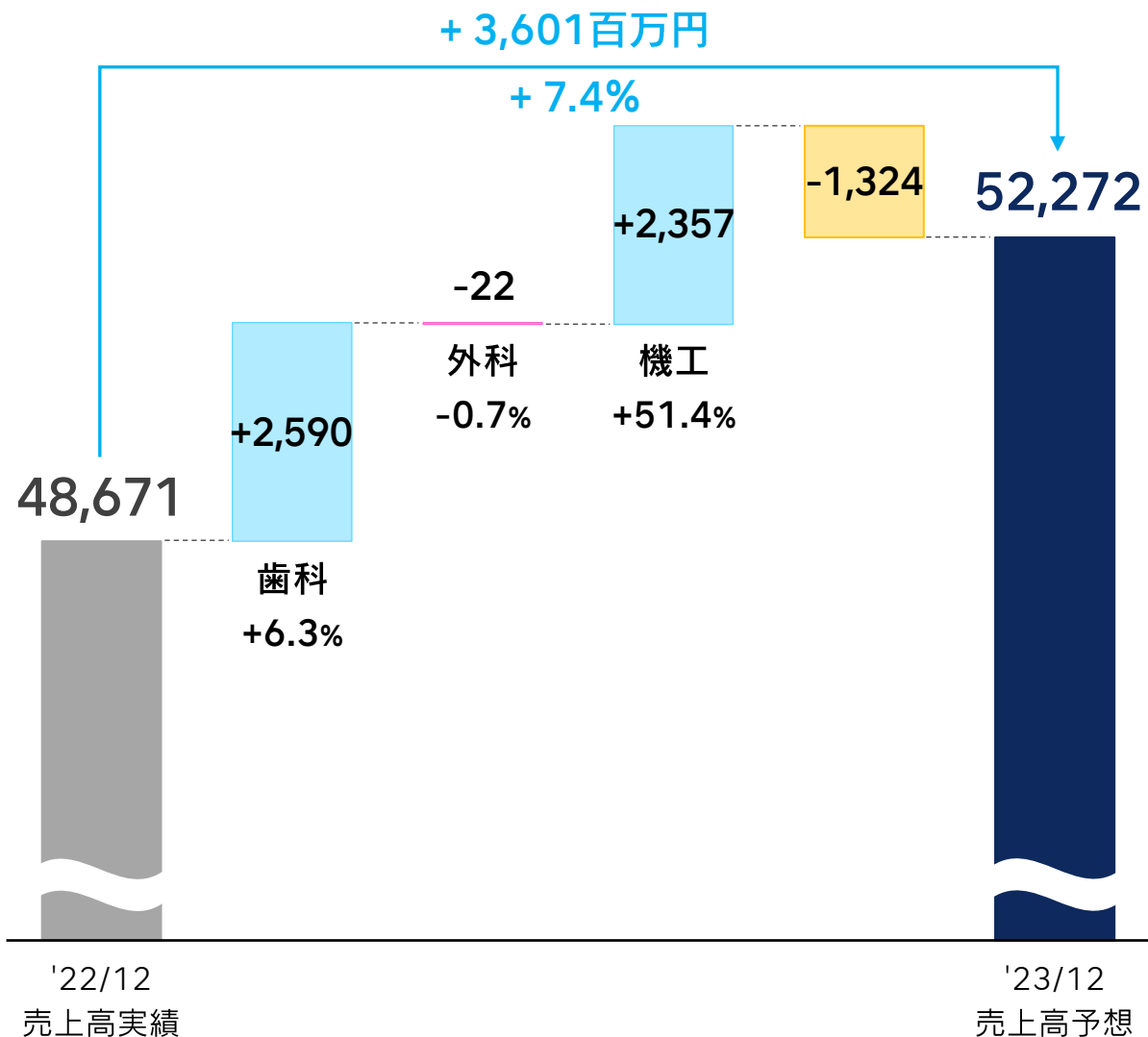
2023年12月期 連結業績予想

執行役員CFO 鈴木 大介

百万円

		業績予想 2023/12	当期実績 2022/12	増減 増減額	増減率 増減率	説明
売上高		52,272	48,671	+3,601	+7.4 %	
売上総利益		33,965	31,221	+2,743	+8.8 %	
	利益率	65.0 %	64.1 %	+0.8 pt	—	
営業利益		15,070	15,389	-318	-2.1 %	
	利益率	28.8 %	31.6 %	-2.8 pt	—	
経常利益		15,836	17,646	-1,810	-10.3 %	
	利益率	30.3 %	36.3 %	-6.0 pt	—	
親会社株主に帰属する 当期純利益		10,976	12,471	-1,494	-12.0 %	
	利益率	21.0 %	25.6 %	-4.6 pt	—	
E P S	(円)	128.91	145.48	—	—	
設備投資額		5,750	4,058	+1,692	+41.7 %	新工場「M1」関連、他
減価償却費		2,221	2,049	+172	+8.4 %	
為替レートの						
- 米ドル	(円)	125.00	130.77	-5.77	—	為替感応度：94百万円
- ユーロ	(円)	135.00	137.90	-2.90	—	為替感応度：98百万円

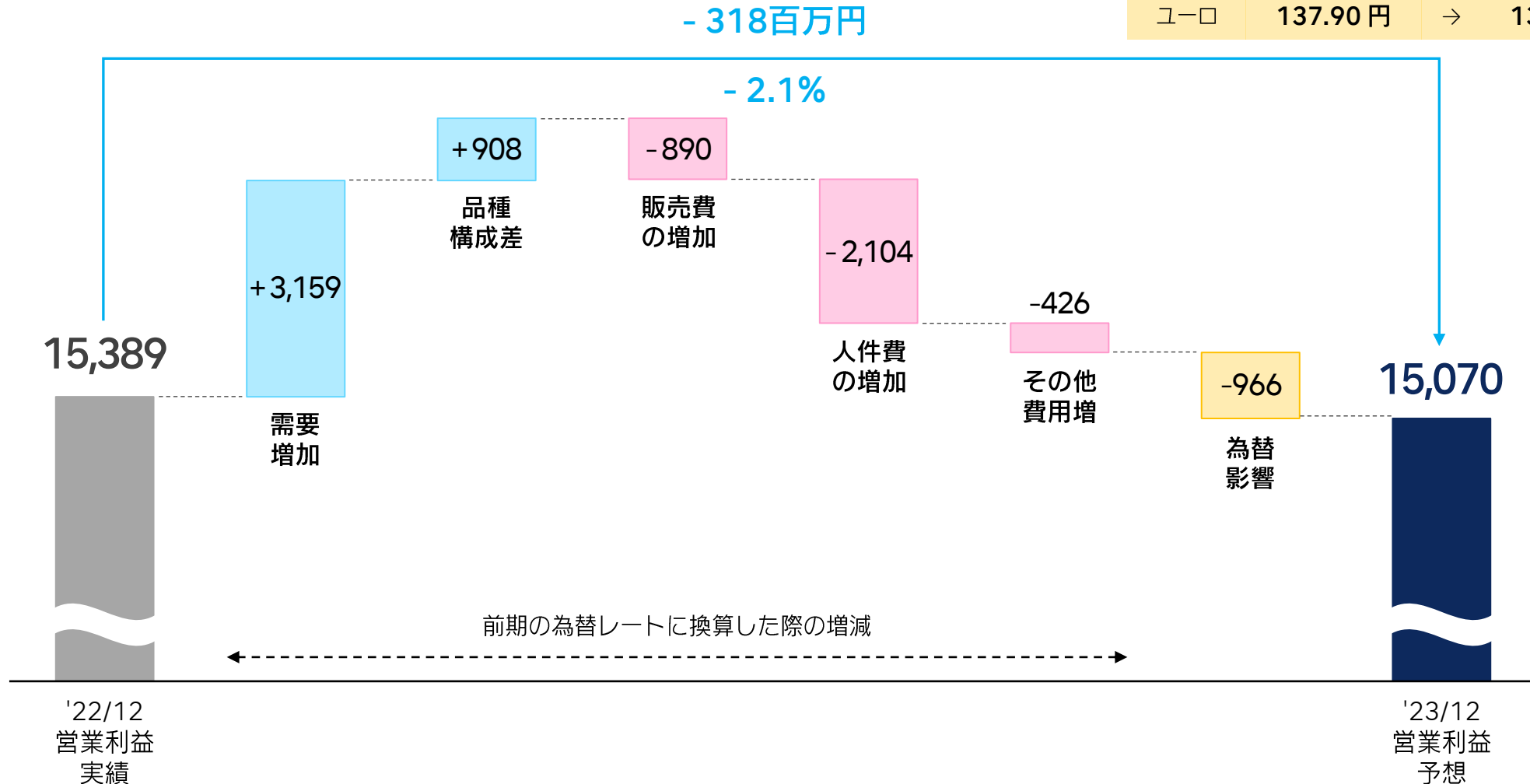
百万円



	当期実績 2022/12	今期予想 2023/12	増減
歯科事業	40,926	43,516	+6.3%
外科事業	3,160	3,137	-0.7%
機工事業	4,584	6,942	+51.4%
為替影響	-	-1,324	-2.7%
合計	48,671	52,272	+7.4%

百万円

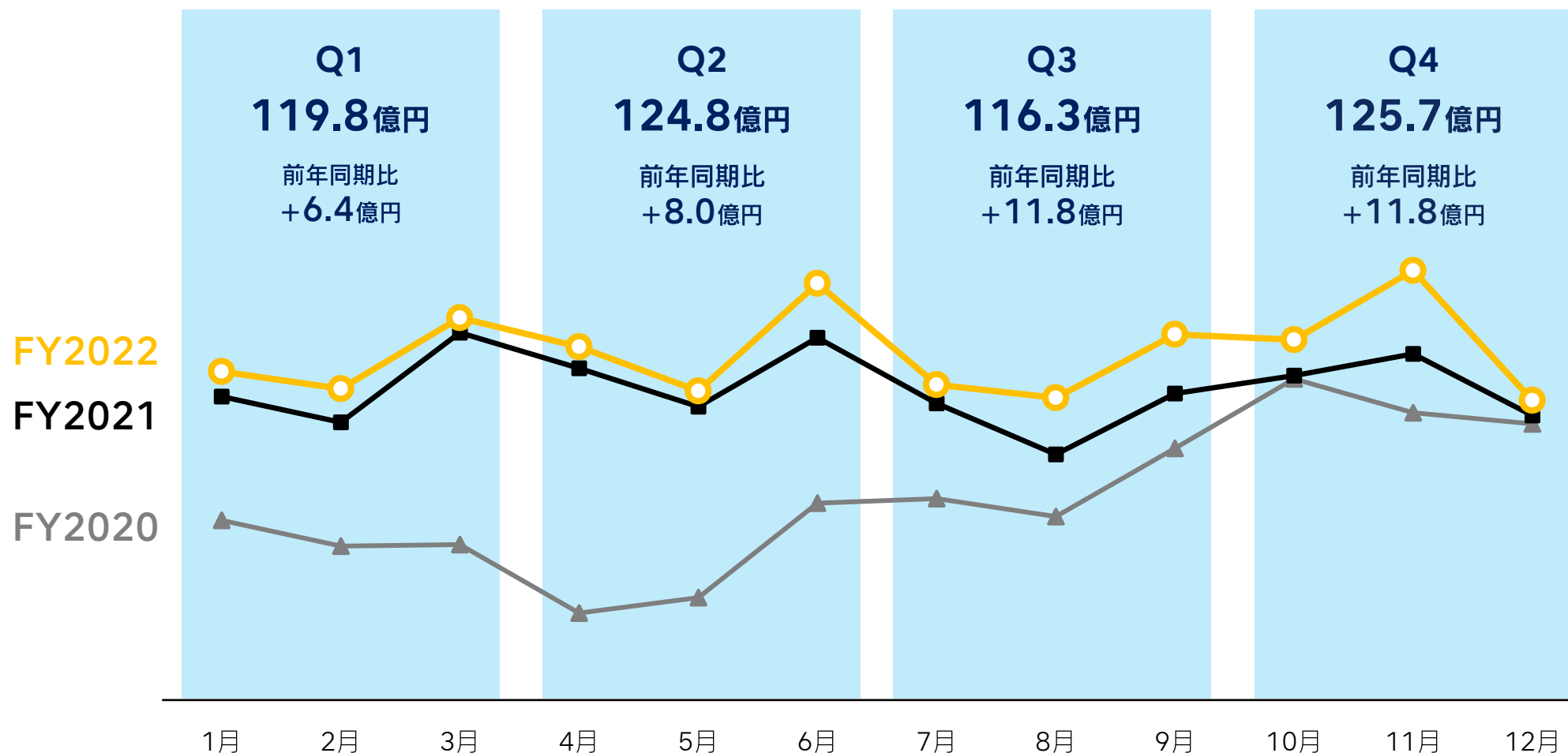
平均為替レート			
	2022/12 実績		2023/12 想定
米ドル	130.77 円	→	125.00 円
ユーロ	137.90 円	→	135.00 円



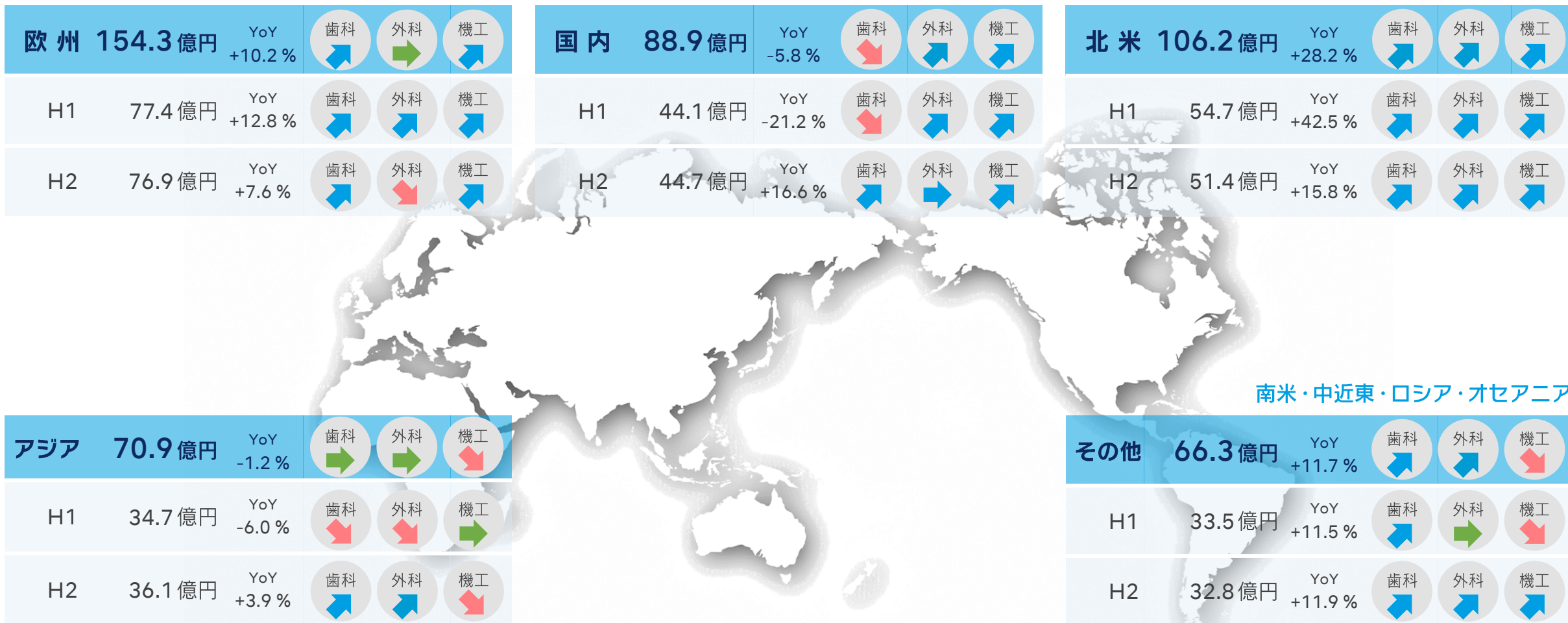
各事業の概況と今後の施策

代表取締役社長執行役員 中西 英一

過去最高売上高を2期連続で更新。為替影響を除外しても前期並み

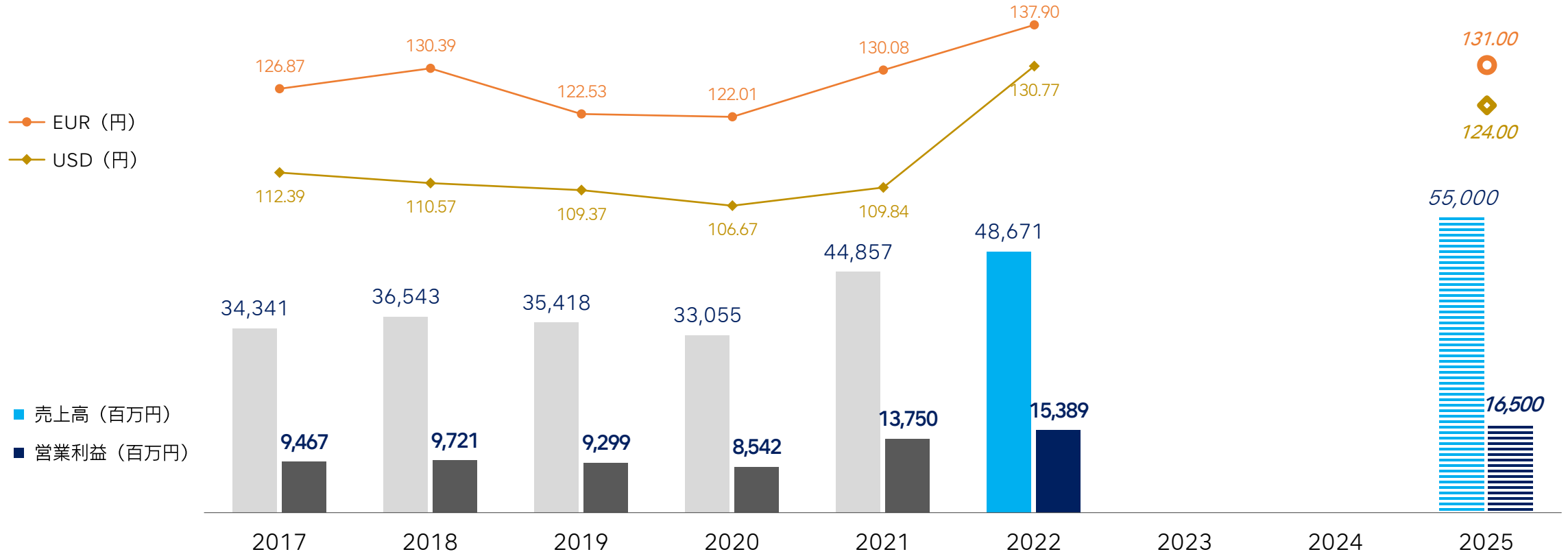


国内・アジアで販売復調し、下半期はすべての地域で増収に



百万円

中期経営計画「NV2025+」 2020年～2025年



ROE	(%)	12.4	11.7	10.2	8.7	12.7	14.4	> 11.0
総還元性向	(%)	30.7	35.4	36.6	40.3	43.5	51.5	50.0
手元流動性比率	(ヵ月)	12.3	12.1	14.1	16.0	13.5	11.1	< 12.0

コロナ禍を好機にして事業規模拡大。生産能力の増強施策を推進中

中期経営計画ローリングプラン

NV 2025+

基本方針と重点施策

1. デンタル事業のグローバル市場における戦略的拡大
2. 超高齢化のニーズに応える新規事業育成
3. スピーディな開発とダントツのコスト競争力を実現する経営基盤づくり

2022年度の進捗

- ・ 2期連続で過去最高業績を更新
- ・ 米国で大幅増収達成、シェア拡大
- ・ 中国にノックダウン生産工場建設
- ・ 「A1+」で部品増産・自動化に布石
- ・ 新組立工場「M1」建設計画を推進

米国

競合が伸び悩む中、当社シェアは7年連続で拡大。過去最高を更新。

電気モーターへのシフトを捉えた製品ラインアップ
全米 No.2 チェアメーカー・DCI社とのコラボ推進



▲ Ti-Max Zシリーズ
(コントラングル)



▲ NLZ
(マイクロモーター)



▲ DCI コラボレーション

大手ディーラーとの取引拡大

歯科大学へのアプローチ

DSO*1 へのアプローチ

*1 Dental Service Organization

中国

現地政策に適確に対応するべく、製造・販売体制強化を推進

KD生産工場

四川中西齿科设备制造有限公司

NSK Dental Manufacturing Co., Ltd.

ゼロコロナ・ビザ発給停止等の影響が出ているものの
ノックダウン生産工場の立ち上げは順調に推移。中国
市場に向けて、今春から出荷開始する見込み。

● 北京営業所 2021年 開設

● 済南営業所 2022年 開設

● 西安営業所 2022年 開設

● 上海本社 2020年 拡張

● 資陽KD生産工場 2022年 開設

● 広州営業所 2022年 開設

● 深圳営業所 2022年 開設



A1+

中長期的な成長を実現するための生産中核拠点として運営

部品増産



工作機械100台を導入、精密部品工場として24時間操業を開始。生産エリアとしての拡張余地も残しており、事業規模拡大に応じた設備増強も可能。

生産性向上



点在する工作機械で4工程かけていた加工プロセスを1台の機械に集約。生産性向上の事例を作り出し、既存の生産ラインへの横展開を推進。

技能者育成

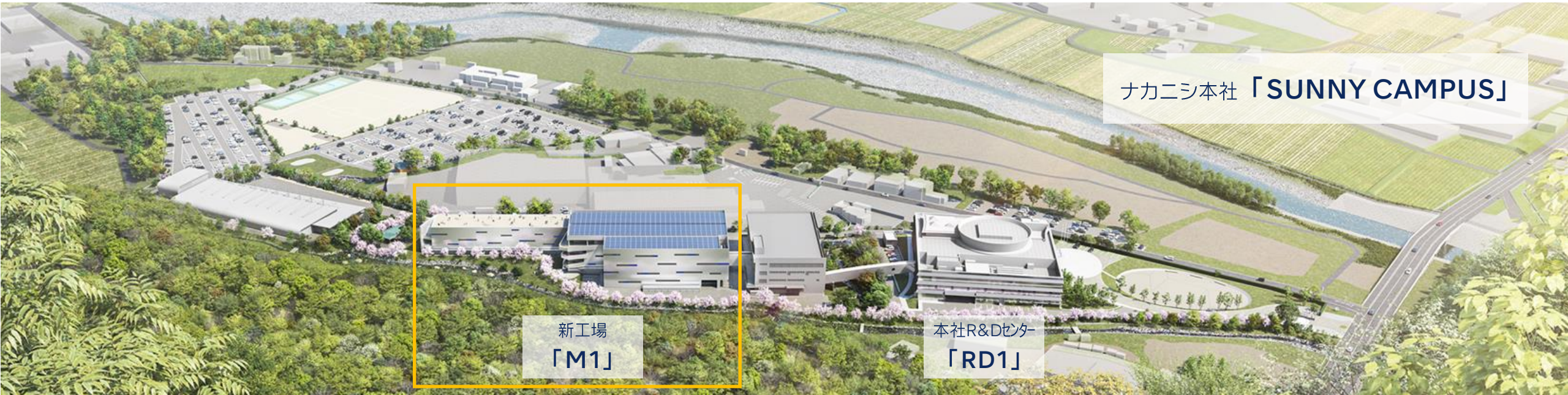


生産部門に配属した従業員の技能向上のスピードアップ・均質化を図るためOff-JTの育成プログラムをスタート。

M1

新組立工場 / 部品・完成品倉庫

- 建設予定地：本社敷地内
- 延床面積：約20,000平米
- 設備投資額：約85億円
- 工事開始日：本年4月（予定）
- 操業開始日：第1期 2024年12月（予定）
第2期 2025年12月（予定）



生産量UP

効率UP

LT 短縮

+

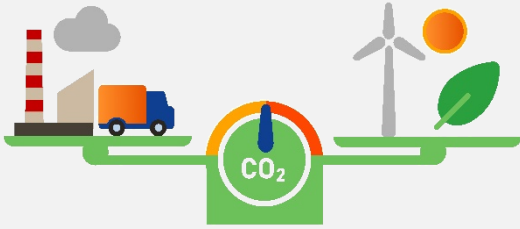
省エネ
の推進

職場環境
の改善

Environment

A1工場・本社工場の
カーボンニュートラル達成

(GHGプロトコル Scope1・2)



- 2021年5月 GHG排出量を算定
- 2021年8月 サステナビリティレポート2021発行「グリーンプラン2030」を掲載
- 2021年12月 本社・A1使用電力をグリーン電力100%に
* Scope2 カーボンニュートラル
- 2022年9月 栃毛木材工業からJ-クレジット購入
* Scope1 カーボンニュートラル
- 2022年10月 カーボンニュートラル第三者証明を取得

Social

障がい者雇用優良事業所等表彰
理事長努力賞を受賞

(障がい者雇用表彰)



ダイバーシティ&インクルージョンに関する各種施策を推進する中、障がい者雇用に関しては職場環境の整備や定着化に向けた各種支援プログラムの推進が評価され、理事長努力賞を受賞しました。

Governance

指名・報酬委員会を設置

(取締役会の任意の諮問機関)

委員構成

- 委員長：中西 英一 (代表取締役)
委員：野長瀬 裕二 (独立社外取締役)
：荒木 由季子 (独立社外取締役)

活動履歴

- 7月1日 委員会設置
- 8月9日 第1回会合(オンライン)
- 10月7日 第2回会合(オンライン)
- 11月11日 第3回会合(オンサイト)
- 12月23日 第4回会合(オンライン)

Rating

ESG評価の改善

(登録情報の精査・更新)

MSCI

- 2020年 **B**
- 2021年 **BB**
- 2022年 **BBB**

Sustainalytics

- 2020年 **High Risk**
- 2021年 **High Risk**
- 2022年 **Medium Risk**

2023年 市場動向予測

— 需要サイド —

先行き不透明感が増すものの
需要は底堅く推移すると想定

— 供給サイド —

部品不足は徐々に緩和するも
部品の高騰が継続すると想定

2023年 基本戦略

- ▶ 世界的な需要拡大に応じるための生産規模拡大
- ▶ 重点市場としている米国・中国市場での拡販
- ▶ 新組立工場「M1」建設計画の着実な遂行

国内



2022年の概況

販売
動向

↓
YoY

- 助成金終了後の需要減は底打ちし、下半期から増収基調に転換
- OEMビジネスは堅調に推移

2023年の施策

販売
動向

→
YoY

- 需要回復局面を捉え、主力である歯科用ハンドピースやインプラントモーターを拡販
- 予防歯科製品のさらなる強化

欧州



2022年の概況

販売
動向

↗
YoY

- 現地法人の販売は地域差が出たものの、英国・スウェーデン・スペインは好調に推移
- NSK Dental Nordicの販売好調

2023年の施策

販売
動向

→
YoY

- 堅調な需要を最大限取り込むべく現法を基点に自社ブランドを拡販
- 世界最大の展示会 IDS2023 出展によるプレゼンス向上と製品拡販

北 米



2022年11月26日～29日 Greater New York (米国)

2022年の概況

販売
動向 
YoY

- 全米を網羅する大手ディーラーを通じた販売が大幅伸長。市場シェアは過去最高値を記録
- DCI社とのコラボ順調

2023年の施策

販売
動向 
YoY

- 電気モーターへのシフトを捉え主力製品の拡販を継続
- 歯科大学・DSOへのアプローチ
- DCI社コラボを強化

アジア



2022年10月7日～9日 IDEM2022 (シンガポール)

2022年の概況

販売
動向 
YoY

- ロックダウンやゼロコロナ政策による影響が大きく、販売減少
- 東南アジア諸国向け販売が復調

2023年の施策

販売
動向 
YoY

- ゼロコロナ転換による販売活動の正常化やKD生産開始による国産品限定入札対応で大幅増収を狙う
- 東南アジア諸国では減収を見込む

その他

中近東



南米



ロシア

豪州

2022年の概況

販売
動向 
YoY

- コロナ禍明けの需要回復が進み販売伸長

- 好況続く中、競合撤退後のシェア奪取が加速し、販売が大幅伸長

- ロシア大幅減、CIS諸国は増収
- ドイツからウクライナ販売継続

- 堅調な需要を着実に取り込み豪州販売は引き続き伸長

2023年の施策

販売
動向 
YoY

- 引き続き政府系病院・大学病院の入札案件対応で増収を見込む

- インプラントモーター等の主力製品拡販で大幅増収を見込む

- CIS諸国の堅調な需要を着実に取り込み、売上回復を目指す

- 需要の先行きに不透明感増すが主力製品の拡販で前期横ばい

2022年・概況

国内外における販促キャンペーンやディスポ拡販が奏功し、過去最高売上を達成

YoY ↗	国内	国内生産による安定供給で新規顧客の需要を着実に取り込み、販売伸長
YoY →	欧州	ドイツ・イタリア・スペインで販売伸長し、販売計画を達成。前期並みに着地
YoY ↗	北米	当社製品への高い評価を背景に販売拡大。他社協業ルートも相まって大幅増収
YoY →	アジア	アジア諸国で伸び悩むも、中国ではロックダウン明けに販売伸長し前期並みに

2023年・施策

北米やアジアでは増収を見込むも、欧州でのOEMビジネス消失の影響で減収を見込む

YoY ↘	国内	耳科分野のKOL連携強化を継続。当期伸長した国内販売は一服する見込み
YoY ↘	欧州	大型更新案件が一服。OEMビジネスの消失もあり、減収を見込む
YoY ↗	北米	当社製品への高い評価を背景に他社協業も順調に進み、販売伸長する見込み
YoY ↗	アジア	需要回復期に入った中国・アジアでは、引き続き代理店拡充と拡販を推進

耳科領域へのアプローチを継続



2022年10月20日・パシフィコ横浜ノース

第32回日本耳科学会総会 側頭骨ハンズオンセミナー

2022年・概況

部品不足で生産にブレーキがかかる中でも受注案件をこなし、2期連続で過去最高売上高を更新

YoY	↗	国内	幅広い産業からの多数の受注に対して、生産が追い付かない状況が継続
YoY	↗	欧州	アプリケーション事例訴求が奏功しており、他社から当社への切り替えが進展
YoY	↗	北米	営業体制強化が奏功。順調に積み上げた受注案件をこなし、販売伸長。
YoY	↘	アジア	受注活況ながらも部品不足による納期長期化が常態化。出荷が追い付かず減収

2023年・施策

Alfred Jägerグループ入りで業界プレゼンスが飛躍的に向上。クロスセルによるシナジー創出を志向

YoY	↘	国内	電子部品の不足による納期の長期化で需要に対応しきれず、減収となる見込み
YoY	↗	欧州	Alfred Jäger への引き合いは堅調で、新規連結に伴う大幅増収を見込む
YoY	↘	北米	販売体制強化・代理店網拡充を推進。納期長期化の影響で減収となる見込み
YoY	→	アジア	納期長期化が続くものの、積み上げた受注案件の遂行で、前期横ばい

アルフレッド・イエガー

Alfred Jäger GmbH

産業用スピンドル専門メーカー

創業： 1967年

会社設立： 2000年11月

所在地： ドイツ・オーバーメルレン

主力製品： 高周波スピンドル・高出力モーター

従業員数： 約120名

*「機工事業」セグメントに組み入れ



▲ 本社・モーター工場



▲ スピンドル工場



▲ 製品ラインアップ



▲ 主カアプリケーション（歯科CAD/CAM）

導入分野・製品特徴・主力市場がそれぞれ異なっている



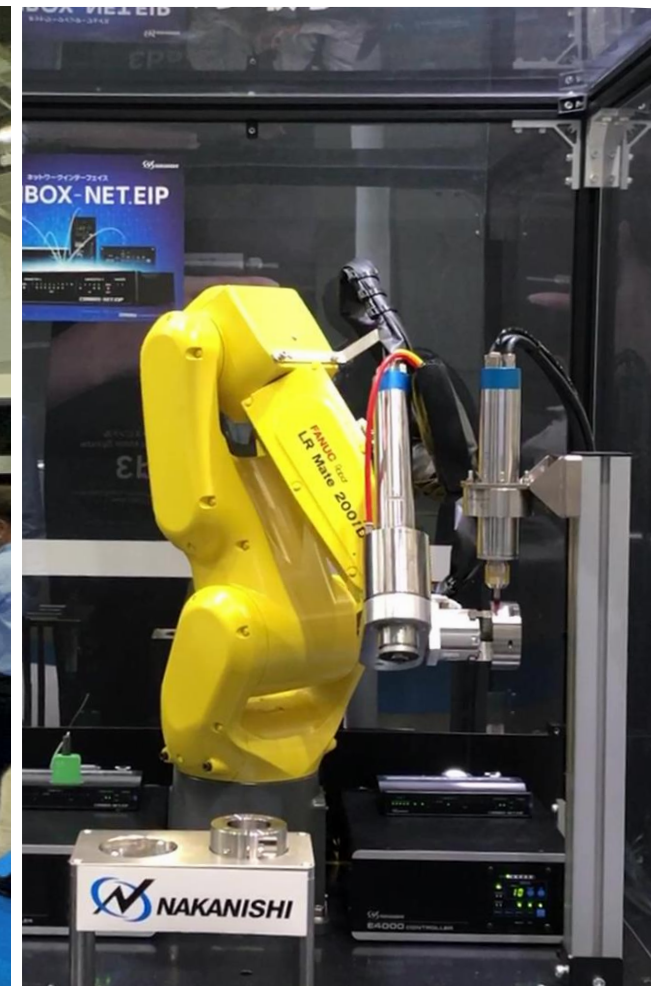
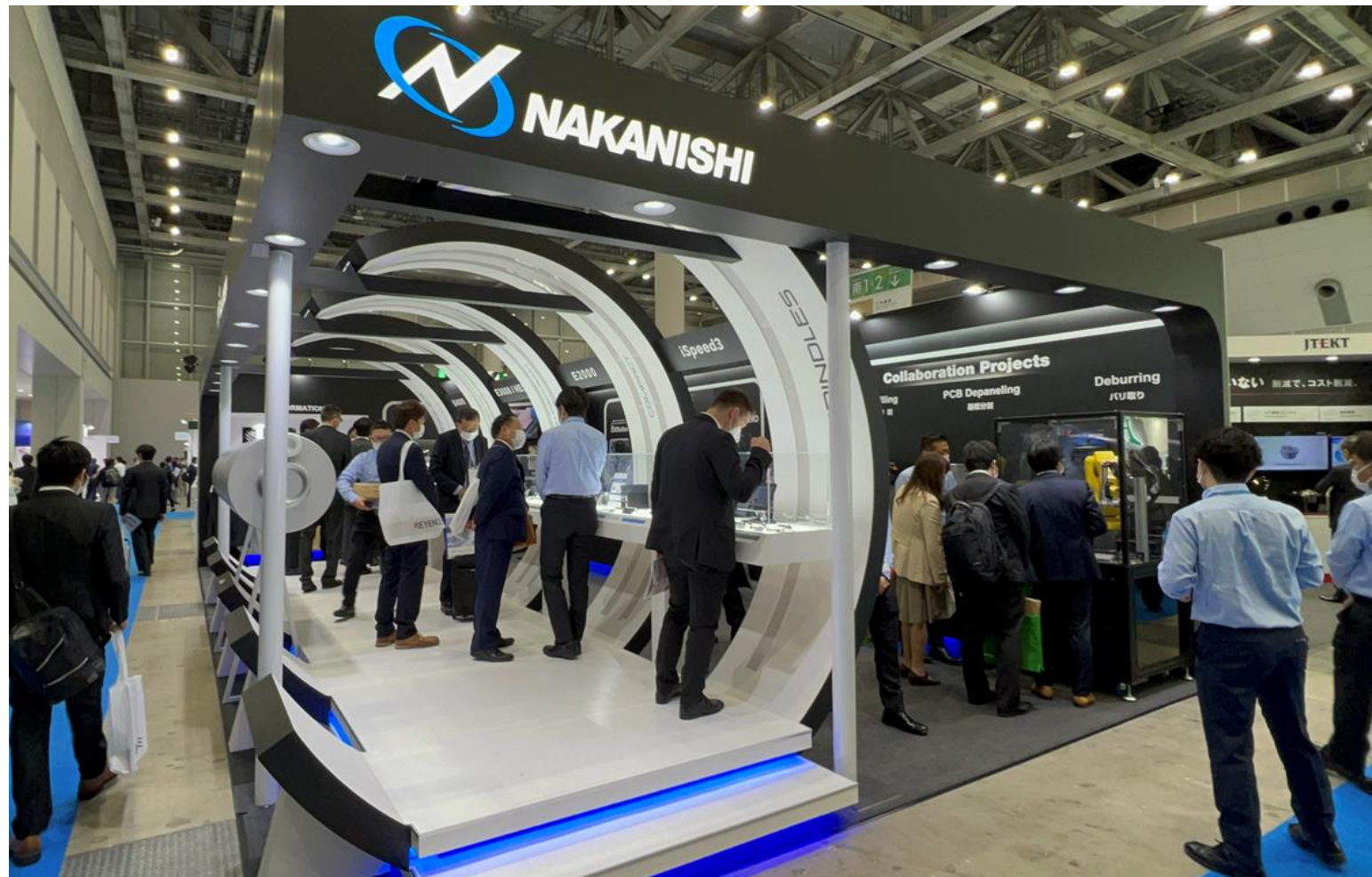
自動車, スマホ, ロボット, プリント基板, 医療機器, 他	導入分野	歯科 CAD/CAM, プリント基板, ロボット, 他
Φ 19 ~ 50 mm	スピンドル径	Φ 30 ~ 150 mm
1,200 W	最大出力	20,000 W
150,000 rpm (Air) 80,000 rpm (DC)	最大回転数	120,000 rpm (DC/AC)
エアーマーター DC ブラシレスモーター	基本技術	DC/AC 高周波モーター
モーター・スピンドル分離型	基本構造	モーター・スピンドル一体型
日本, アジア, 米国	主力市場	欧州

JIMTOF2022

2022年11月8日～13日 東京ビックサイト

国内最大級の工作機械見本市に4年ぶりに出展

システムインテグレーターとのコラボ事例を多数展示(25社)



NSK